



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治版

平成20年3月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂



3月号
2008年
No.61

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

すべての県立高校で「日本史」が必修となります!

神奈川県から「歴史が好きになる教育」の発信を



「すべての県立高校で日本史を必修とする」。神奈川県教育委員会が2月14日に発表した新しい学習指導要領の実施が、全国で、そして永田町で大きな反響を呼んでいます。

日本史の必修化は全都道府県で初めての試みです。現在の学習指導要領では、高校の社会科は世界史が必修で、ほかに日本史と地理から1科目を選ぶことになっています。それを神奈川県では、世界史の必修はそのままで、このほかに①日本史A(近現代史)②日本史B(通史)③地理+神奈川県郷土史・近現代史……の中から1科目を選ぶことにするのです。平成22年度から一部校で試行し、25年度から全校で実施する計画です。

「国際社会で生きていくためには自国の歴史を学ぶ必要がある」。これは神奈川県の引地孝一教育長のコメントです。永田町で私の周辺の人たちが興奮しているのは、こうしたあたりまえの教育が今、やっと実行に移されようとしているからです。

「地理を選択する生徒は3科目の履修となり負担増となる」。日本史必修にはこんな批判があります。しかし、これは町村信孝官房長官の「負担増であっても将来立派な社会人として成長してゆく基礎を身につけさせようという神奈川県の判断であれば尊重すべきだ」という反論がすべてを言い尽くしています。子供たちの負担を軽くすることを目的として導入された「ゆとり教育」が、急激な学力低下を招いたことを私たちは見えています。

「こういうこと(日本史の必修化)があって初めて愛国心や郷土愛がはぐくまれる」。松沢成文知事はこう言いますが、するとすぐ「偏狭なナショナリズムの押し付け。戦前の教育への回帰だ」という批判が出ます。これも近現代史でことさら日本を悪者にしてきたこれまでの歴史教育がおかしいのです。これでは生徒は歴史を嫌いになるだけです。

日本は世界の中であって、世界の動きの中で自らの行動を選択してきました。日本史の必修化にあたっては、ぜひそのことを教えてほしいと思います。つまり日本史を地球規模で見直すということです。例えば、横浜は来年「開港150周年」を迎えますが、ペリー来航の裏でどんな世界の動きがあったのか? そんな日本史と世界史の重層的な歴史教育が神奈川から全国に広がってゆくとすれば、どんなにすばらしいことでしょう。

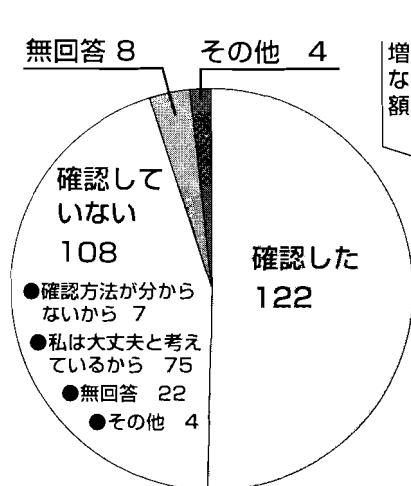
50.6%が「年金受給資格と受給額を確認した」 為公会の政策アンケート調査の結果まとまる

私が所属する政策集団「為公会」（麻生太郎会長）は、1月15日から1カ月間にわたって神奈川1区（中区・磯子区・金沢区）内の自治会・町内会長を対象に「政策アンケート調査」を行いました。その結果の一部は「まちかど政治瓦版」の前月号でお知らせしましたが、最終集計がまとまりましたので報告します。

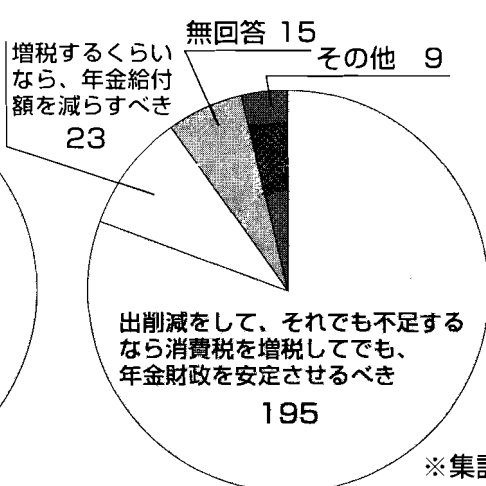
調査をお願いした473人のうち回答をいただいたのは242人。回答率は51%でした。

ご協力いただきました皆さんにお礼を申し上げるとともに、皆さんから寄せられたご意見を政策として実現させるために、為公会の所属議員が一丸となって取り組むことをお約束します。ありがとうございました。

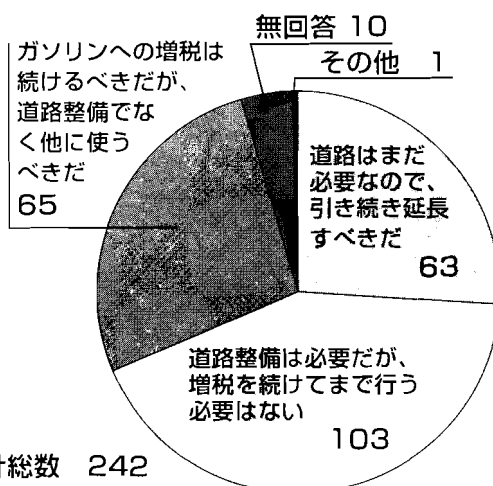
1) 年金受給資格と給付額



2) 年金財源



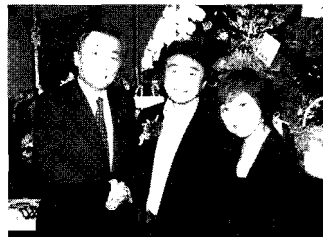
3) ガソリン税



▲1/19 磯子区中原神輿睦会の新年会で。今年も大活躍を！



▲2/10 磯子区馬場町さつき会新年会で。とてもお元気な皆さんでした



▲2/10 ブリキの玩具でお馴染み北原照久さんの還暦パーティで



▲2/10 保土ヶ谷区歯科医師会会長伊藤洋一さんの音楽パーティで

永田町日記 「福田さんになってから、拉致問題が…」

この冬は例年のない寒さが続いています。私は悪天候と公務があるとき以外は、土日祝祭日を除く毎日、JRや京急の各駅で早朝駅頭演説会を開いていますが、最近「福田政権になってから拉致問題に対する働きかけが少なくなったのでは」とおっしゃる方が増えています。昨年11月、発足以来10年間、拉致被害者家族連絡会の代表を務めてこられた横田滋さんが辞任。今年1月には安倍前総理や麻生元外相の信頼が厚かった谷内正太郎外務事務次官が退任しました。拉致問題のキーマンともいべき人が交代する中で、確かに福田総理からは力強いメッセージが発信されていません。

就任以来、年金問題や道路特定財源問題などで政局が混乱し、その対応に追われているという状況で、拉致問題が暗礁に乗り上げているのは事実です。北朝鮮に対して融和政策を進めてきた韓国の盧武鉉大統領に代わって登場した李明博大統領が、どういふ北朝鮮政策を打ち出すのか。そういう点も見極めながら、拉致問題の進展を図らなければ、と考えています。（純）

まつもと じゅん プロフィール ▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師 ▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む ▶平成2年～横浜市長（3期）▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人 ▶平成12年～総選挙で次点落選 ▶平成15年～衆議院2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議院3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘 ▶平成7年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に ▶平成19年6月～自民党横浜市連会長 ▶平成19年8月～安倍改造内閣で自民党副幹事長に再任。▶平成19年9月～福田内閣で自民党副幹事長に留任。